



発行所
秋田県合川町役場
編集責任者(広報係) 松橋新一
電話 4番
〔発行部数 2,700〕

「社会福祉の町」実現へ

町ぐるみの運動を結集して

「全ての町民が、健康で明るく豊かな町づくりのために町の総力を結集しよう」として昨年の九月、町議会が「社会福祉の町」を宣言したのでありますが、この宣言を町政の施策として推進するための要綱がまとまりました。この宣言が、単に宣言におわることなく、強力な町政の施策とあいまって町民各層の理解と協力によって町ぐるみの運動へと発展することが期待されるものであります。

基金の強化など 推進要綱とまとまる

この程まとまった「社会福祉の町」宣言の推進要綱は次のとおりである。

①合川町社会福祉審議会の設立
②生活保護並に厚生に厚生
③児童福祉
④母子福祉
⑤老人福祉
⑥身体障害者福祉
⑦精神薄弱児者の福祉
⑧その他法令に基き、福祉ならびに一般行政面における社会福祉に関する事項

委員は五名をもって構成(社会福祉協議会八名、本町に住所を有し町民税を納付しているもの七名)、町民憲章の制定、町福祉大会の開催、福祉大学講座の開設。

○生活保護並に厚生に厚生
町社協に福祉司の性格を有する職員を配置、民生委員、関係機関との連携、更生対象世帯の調査及び更生計画の立案指導、自力養成指導。

○児童福祉
青少年問題協議会と特殊

合川町では、昨年の九月定例町議会で「町民の健康を守り、地域社会の福祉向上を期して、よりよい住民生活の連帯感をもちた社会を築くため、町ぐるみの運動を結集してその理想の実現をはかる」という社会福祉の町を宣言しました。

町としては、立町以来社会福祉を町是として、いろいろな施策を進めてきたが、これらをさらに本格的なものにし、町民の生活と健康を守り、明るい社会を築くことを宣言したものであります。現在、国の制度となつた老令福祉年金も、実は

社会福祉宣言 の町とは

解説

わが町で独自に創設したものが口口となつて、全国各市町村に波及し、政府がそれをとりあげて実施したのであり、社会福祉年金も全県下で第一に創設して、それが各市町村に広がっている。このように、町民生活を守り、明るい社会を築く精神は、町民の心を結集してこそ可能なものであります。町民各位のいっそうの協力を念願する次第であります。

学級職員との連繫、青年ボランティアの養成、児童館及び遊び場の整備と各種大会の実施、少年団体リーダー講習会の開催、交通安全対策リーダーの養成、非行化対策(健全育成会)の結成、地域社会との連絡、特殊児童等に対する就学助成。

○母子福祉
母子健康センターの利用(母親学級の開催、栄養改善の指導)地域格差差正に對する指導並びに助成、各種検診並びに予防接種の完全実施。

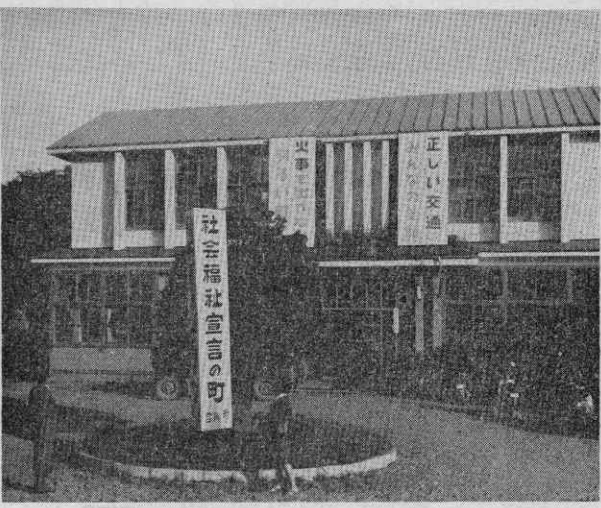
○老人福祉
老人クラブの育成、老人大会の開催、還暦祝の実施(記念樹の贈呈)、敬老会の開催(敬老年金の支給)、老人健康診断の無料実施、老人ホームの収容、身体障害者福祉、更生相談所の開設、各種講習会の実施、更生訓練の実施、レクリエーション等の職のあつせん。

○精神薄弱者(児)福祉
各上部機関と密接な連繫のもとに人員の把握、自力

の養成と指導、施設への紹介。

○その他
合川町社会福祉協議会の強化、各種募金の早期完遂、出稼留守家族の会開催、衛生対策(衛生組合)の設立、推進、献血、血液型の無料判定、簡易水道の促進、成人病検診に対する全額補助、広域行政面における塵埃処理場の設置。

◇社会福祉基金の増強について
以上の諸施策の実現のため町は毎会計年度一〇〇万円を社会福祉基金に繰出し、十年計画で一、〇〇〇万円の基金をつくり、画期的な福祉活動を展開する基礎を確立する。



「しあわせ(福祉)」は皆の力で

苗木、種駒のあつせん

森林組合

森林組合では、例年のとおり春植用の杉苗木、しいたけ、ナメコの種駒の注文を受けております。

また造林地に施す固型肥料の注文も受けています。詳しくは組合事務所(合川町産業会館内、電話一七七番)まで問い合わせください。

青年模範町議会

2月19日 役場で開く

合川町青年模範町議会が二月十九日午前九時から役場会議室で開れることになった。

この青年婦人の模範町議会は、青年婦人の政治意識をたしかめることをねらいとし、さしあたって町政のしくみや実態を学び、町政に反映させようとするもので、三十人の青年婦人議員が町当局にたいし本会議における一般質問、常任委員会などをおして当面する諸問題をたずねることになり、活発な意見がだされるものとみられている。

所得税の確定申告

納税相談2月22日

昭和四十一年分の所得税の確定申告と納税の期間は二月十六日から三月十五日までとなっております。

今年も所得税(国)と事業税(県)それに住民税(町)の

石戸木部落部持てる



木戸石部落(委員長 山俊夫)は、戸数一六九戸、人口八六五人を有し、旧下大野村の城下で現在李俊、駅前、次ぐ町内第一三の部落である。

新たな有資格者の申請は3月1日

永久選挙人名簿の登録

各種選挙のときに使われる選挙人名簿の登録は、今年から申請書の提出が義務づけられ、三月一日までに完了しなければならない。申請書の提出は、町民税の申告書と一緒に提出する。

町では、申請書の提出が義務づけられ、三月一日までに完了しなければならない。申請書の提出は、町民税の申告書と一緒に提出する。

県町民税の納税相談

町では、皆さんにより正しい所得申告をしていただくために、次の日程で各部落ごとに納税相談を行なうことになったので、必ず申告してください。

2月20日 増沢、八幡倍
21日 木戸石
23日 李俊

ご厚志に感謝

亡祖母伊豆さんの死亡による香典返しに代えて金壹万円也。

亡父七右衛門さんの死亡による香典返しに代えて金壹万円也。

農地報償の請求をまだおわっていない人は、いますぐ手続きをしてください。

はたちの自覚を新たに 201名が成人へ



「成人」この世に生をうけて20年、人間社会における自己の位置づけ、そして限りない未来への展望、20歳を迎える若人にとってまことに意義深い。恒例の成人式は、去る1月6日合川中学校を会場に折よく正月帰郷の人達も参加して盛大に行なわれた。

佐藤君が 木村さんが入選

—成人 生活作文—

町公民館ではさきに今年作品「私の道」、木村ノリ子さん(李岱)の作品「故郷」で成人式をあげる喜びの二点が入選されました。

また、佳作には成田弘君(大内沢)の作品「私」が選ばれ、去る一月六日開かれた成人式の席上で表彰および入選作品の発表が行なわれた。

私の道 佐藤喜代見(川井) 故郷で成人式をあげる喜び

木村ノリ子(李岱) 佳作 たくましい 青年として進もう 成田 弘(大内沢) こんな農村の 女性になりたい

私の道

佐藤喜代見 (川井)



まことに早いものである私が生まれて二十二年、そして成人さんと呼ばれ、大人の仲間入りをした現在、意外に早く近づいてきた成人の実感がまだピンと来ず、とまどっているようなおちつかない気持ちで毎日を過ごしている私である。これが今のうそいっわりのない心境である。

成人になったからといって完全なものを何一つ持っていない訳ではないが、しかし、これを機会に今までとは違った社会に対する姿勢を考え直して再出発したいと考えている私である。

人間には、おそれ早やかれ、この世に生まれて来た以上、数知れない苦難が待っている。しかし、生き

達、就職、進学のコースを決めようと思死で、毎日の明け暮れだった。私もその中の一で経済が許すなら後者の方に進みたいと思っていた。しかしそれとつかのま、その直後父が病気で倒れ、進学は致命的なものになってしまった。

進学できないことを全く予期していなかった私でもなかつたが、結果がこのように出たためか、なぜか、くやし自分が哀れにさえて見えたその頃である。

そんな気持ちで中学を卒業し終え、進学できなかったため、以前にもまして高校進学に激しい関心を燃やして就職した私である。

むろん長男であるため遠くにも行けず、近くの商店に店員として働いた。世間知らずの私が社会の荒波にのまれて、歩みはじめたのは、この時からである。

今までは違っていて朝早く夜遅い生活がはじまった。このため閉店する前に、いねむりをすることも多々ある始末だった。また、それにもまして、私に一番こたえたのはお客様への応対である。無口で話の下手な私方ではあるが、ここに述べたように、数知れない苦難が待っている。しかし、生き



故郷で成人式を
挙げる喜び
木村ノリ子 (李岱)

恥かしくて自分について来た「待って」という語がびびりあてはまるよううれしうれしかった。

入学式は秋田高校の講堂に五七名の生徒を集めて行なわれた。みな働きながら勉強する人達ばかりであつた。もちろん年齢に関係なく、よほどの年配に見える人もいたが、この人達とて難儀な道はかくこしていることであらう。

二十年前の今日大きな産声であつたこの世に誕生し、何をやるにもとまどうことがたびたびあり、田舎者の私でも、何かは一人前にできるはず、といろいろ考えました。そして新社員が私がつけた仕事は、朝そうじとお茶を淹れ、掃除機をかける、洗濯物を干す、といった時間ぎりにあつた。時間ぎりにあつた。時間ぎりにあつた。時間ぎりにあつた。

若さという無限の自由と青春を私はこの広い東京で思いきりエンジョイしてみようと思ひました。でも東京のネオンがきれいに輝く頃になると、いつも私の目に浮ぶ姿があります。それはリヤカーいっぱいに積んだ車を月の明かりをたよりながら運んでくる母の姿であり、一日中外で働いて真黒になっている父の姿です。どんなに辛い事、苦しい事があつてもこの姿が私の目に浮ぶ限り私は頑張っていくつもりです。

青年は、こう考える

—成人式のアンケート—

公民館では去る一月六日別項のとおり成人式を行なったが、ことしも成人者にアンケートをこころみた。

このアンケートは、大館市と北秋田郡各町村が共同で行なったもので、その結果が現代の青年たちの考え方であると決定づけることは早計かと思ふが、少くとも青年たちの現在の政治や経済、家庭や地域の生活など社会情勢に対する考え方的一面としてとらえることができる。

そこでアンケートの結果から主なものを紹介しよう。

① 成人になられてあなたはどんな責任を感じられましたか。

② 選挙のとき一票を投ずることによって政治に参加することができるといふ責任。一七

③ おとなになったから日常の行動をしっかりとしなければならぬ責任。三四

④ 一人まえの仕事ができるようになるならぬ責任。一三

⑤ ①と②に責任を感じるものがない。五

⑥ あなたは、どんな気持ちで現在の仕事をしていますか。

① よろこびをもって進んでやっています。四六

② しかたがないからやっている。三

③ ①と②の中間で苦しみもななくのんびりと生活ができること。三

④ ①と②の中間で苦しみもななくのんびりと生活ができること。三

⑤ ①と②の中間で苦しみもななくのんびりと生活ができること。三

⑥ ①と②の中間で苦しみもななくのんびりと生活ができること。三

⑦ ①と②の中間で苦しみもななくのんびりと生活ができること。三

⑧ ①と②の中間で苦しみもななくのんびりと生活ができること。三

⑨ ①と②の中間で苦しみもななくのんびりと生活ができること。三

⑩ ①と②の中間で苦しみもななくのんびりと生活ができること。三

⑪ ①と②の中間で苦しみもななくのんびりと生活ができること。三

⑫ ①と②の中間で苦しみもななくのんびりと生活ができること。三

⑬ ①と②の中間で苦しみもななくのんびりと生活ができること。三

⑭ ①と②の中間で苦しみもななくのんびりと生活ができること。三

⑮ ①と②の中間で苦しみもななくのんびりと生活ができること。三

⑯ ①と②の中間で苦しみもななくのんびりと生活ができること。三